

東京大学史料編纂所附属 画像史料解析センター 通信

第87号 2019年10月

目	次
巻頭図版 前江戸図	東大寺宝珠院所蔵絵図の名称について (西田友広) ……19
上杉本「洛中洛外図屏風」をめぐる新説について —行列従者・輿の理解— (藤原重雄) …… 2	文献案内 ……22
靖國神社遊就館所蔵「名古屋御城石垣絵図」 について (及川 亘) ……10	画像史料関係文献目録 ……23
	活動抄録 ……24



前江戸図 (東京大学史料編纂所蔵「本朝城絵図」所収)

「本朝城絵図」(1冊、全80丁、40.0×30.8cm)は、「諸国当城図」(広島市立図書館浅野文庫所蔵)や「極秘諸国城図」(松江歴史館所蔵)と同じ系統に属する、江戸時代に作成された全国の城絵図集。このなかに、近年話題となった「極秘諸国城図」所収の「江戸始図」とよく似た「前江戸図」が含まれている。大名屋敷などの名称を丁寧に書き込む「江戸始図」に比べると「前江戸図」の文字の記載は簡略だが、江戸城の縄張りは一貫している。なお「江戸始図」の描写を慶長期の江戸城と見る説に対し、最近、斎藤慎一氏は後の時代の考証図とする見解を出している(斎藤「慶長期の江戸城」『東京都江戸東京博物館紀要』9、2019年3月)。

(黒嶋 敏)